

2023（令和5）年9月26日
神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会

「神楽坂まち飛びフェスタ2023」

今年で25年目！神楽坂の秋の恒例、まちの手作り文化祭。アート、伝統芸能、展示・体験など36の文化企画が期間中、神楽坂のどこかで開催されています。

神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会は、「神楽坂まち飛びフェスタ2023」を2023（令和5）年10月14日（土）～11月3日（金祝）の期間、神楽坂エリアで開催します。1999年から地元の有志で始めた「神楽坂まち飛びフェスタ」は、地元の商店会、企業、大学、団体、店舗、住民などを巻き込みながら、毎年進化を遂げ、今年で25年目を迎えます。



JACEイベントアワード受賞、新宿区共催名義に決定！

この25年目の節目の年に「神楽坂まち飛びフェスタ」として、嬉しいニュースが二つ飛び込んでまいりました。

2023年6月16日、経済産業省後援「第9回 JACE イベントアワード」にて、神楽坂まち飛びフェスタ2022「坂にお絵描き/坂にお絵貼り」が総応募数152作品中、「学生・NPO・各種団体・個人」部門 シルバー賞を受賞いたしました。

JACE イベントアワード Web サイト：<https://award.jace.or.jp>

審査対象2分動画 <https://m.youtube.com/watch?v=xlwbnPzsosU&feature=youtu.be>

選考委員コメント：

神楽坂で毎年秋に開催されている、町の手作り文化祭。町の賑わいづくりイベントとして、四半世紀にわたり、代々実行委員会が次の若手にバトンを渡しながらかつて開催されている点が評価されました。コロナ禍でもデータで

作品を募集、展示にこぎつけたり、子ども食堂の支援を募る仕組みの導入など、町の人々の思いが伝わるイベントとして受賞に至りました。

また、昨年までは新宿区の後援名義のイベントでしたが、今年から共催名義になることも決定いたしました。

地元の心ある先人の想いを受け継ぎながら、神楽坂のまちの移り変わりと共に、時代に合わせて進化を遂げている「神楽坂まち飛びフェスタ」。この25年間で、神楽坂の地元の団体・住民のみならず、外部からも高く評価されるイベント、まちおこしの成功例と認知されてきております。次の25年に向けて、実行委員一同、より一層気を引き締めて、まちを盛り上げてまいります。

猫とこどもとギャルソンと伝統芸能の唄い手・踊り手が神楽坂に集結！

10月15日（日）は「神楽坂ギャルソンレース」×「化け猫フェスティバル」×「富山県南砺市」のコラボ企画を開催します。

日中は神楽坂通りを、神楽坂の飲食店のギャルソンがトレイを持って走り、猫メイクをしたコスプレイヤーやこども達がハロウィンパレードします。夜には毘沙門天善國寺で南砺市から来た唄い手・踊り手が日本最古の民謡と言われる「こきりこ ささら踊り」を披露します。

「神楽坂ギャルソンレース」には猫達も出場し、南砺市から賞品提供もあります。「化け猫フェスティバル」では、ささら踊りのコーナーがあり、「こきりこ ささら踊り」にも猫達も参加します。

江戸情緒とパリを思わせる洗練された雰囲気と併せ持つ神楽坂ならではのコラボ企画。東京でもきっと神楽坂でしか実現できない組み合わせです。他にも神楽坂エリアで楽しい企画が盛りだくさんの一日となっております。

毎年恒例！大人も子供も楽しめる、大人気のメインイベント「坂にお絵描き/坂にお絵貼り」

最終日の11月3日（金・祝）はメインイベント「坂にお絵描き/坂にお絵貼り」を開催。神楽坂通りの上から下まで敷いた700mの真っ白なロール紙に、誰でも自由に絵の具でお絵描きできます。2020年、2021年はコロナ渦でのイベント開催の制約の中、規模縮小して開催していましたが、昨年3年ぶりのフルバージョン開催に戻しました。今年は感染防止対策の規制も解除され、一層の賑わいが期待できます。

遠方で来れない方などはオンライン参加も可能。事前に自宅などで描いた絵をスマホで撮って送ると、当日実行委員がプリントして路上に貼ってくれます。

さらにオンライン応募1枚につき500円新宿区のこども食堂に寄付されます。「神楽坂こども応援プロジェクト」と銘打って昨年2021年にはじめたこのプロジェクトが、2021年11月NHK「あさイチ」番組内の「寄付」特集の中で取り上げられました。社会貢献にもなるこのプロジェクト、是非気軽に参加してみてください！



「神楽坂まち飛びフェスタ」の沿革

1999年に、まち全体がアートスペースになるアート企画「まちに飛びだした美術館」を開催し好評を博しました。翌年これが神楽坂ゆかりの伝統芸能など様々なイベントを加えた「第1回神楽坂まち飛びフェスタ」として発展・継承され、毎年回を重ねて今年で25年目を迎えます。

特に、神楽坂通りの坂上から坂下まで全長700mにロール紙を敷き、道行く人々に自由にお絵描きしてもらうメインイベント「坂にお絵描き～700mのキャンパス」は、まち飛び名物として定着し、マスコミ等に紹介される機会も増えております。

企画概要

神楽坂ギャルソンレース 会場 神楽坂通り

神楽坂のまちがバリになる!!

フランスで100年近くの伝統を持つ『ギャルソンレース』を知っていますか？

『ギャルソン』とは、飲食店のウェ이터やウェイトレスの人のこと。そのギャルソンがグラスを片手に競走するのが『ギャルソンレース』です。

フランス人も多く暮らす『東京のプチ・パリ 神楽坂のギャルソンレース』では、本場さながらの白熱のレースが繰り広げられます。神楽坂での『ギャルソンレース』をお楽しみください！



10月15日（日）15：00～17：00

参加費：無料（出場者は要事前申込み） ※観覧自由

問い合わせ先：race@machitibi.org（ギャルソンレース担当実行委員）

主催：神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会

協力：神楽坂通り商店会 / 一般社団法人 神楽坂料理飲食業組合 / 一般社団法人 新宿観光振興協会 / 一般社団法人 神楽坂サポーターズ（順不同）

化け猫フェスティバル 2023 会場 神楽坂通り

猫をテーマに仮装していれば誰でも参加できる猫版ハロウィン祭り。

「化け猫パレード」と猫版あわ踊り「あにゃ踊り」に加え、昨年に続いて富山県南砺市の伝承ささら踊りの猫版「ささにゃ踊り」も登場！

他にも猫イベント盛りだくさん。1日猫になりきって遊ぼう！



10月15日（日）12：00～17：00（10時受付開始）

参加費：パレード参加：大人 500 円／小学生以下無料（メイク体験は有料）

イベント公式サイト：<http://bakeneko.oops.jp/>

主催：化け猫フェスティバル事務局

こきりこ ささら踊り 会場 毘沙門天善國寺 境内

富山県南砺市（なんとし）は、四季折々の豊かな自然に恵まれ、日本の原風景と、古き良き日本の伝統文化が今に色濃く残っている場所です。

夕暮れ時の毘沙門天境内で南砺市の伝統的な「こきりこ ささら踊り」を披露します。

今回、越中五箇山筑子唄保存会の岩崎喜平さんと踊り手が神楽坂に来訪。哀愁漂う歌声に酔いしれた後は、皆さんも一緒に、ささらを持つての輪踊りにご参加ください！



10月15日（日）

18：30～19：30（予定）こきりこ ささら踊り披露

参加費：無料

主催：南砺市観光協会

神楽坂アートスクエア 会場 毘沙門天善國寺 境内

毘沙門天境内で行われる「青空展覧会」

絵画、書、イラスト、インスタレーション、工芸、切り絵、写真、版画等、それぞれのアーティストが作品を展示し、来場のお客様に投票頂きます。

芸術の秋、神楽坂で行われるこの小さな展覧会を訪れてみませんか？

10月29日（日）10：00～16：00（雨天、強風時中止）

入場料：無料

問い合わせ先：art@machitibi.org（アートスクエア担当実行委員）

主催：神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会



坂にお絵描き/坂にお絵貼り 会場 神楽坂通り

神楽坂の路上に広げた紙に、誰でも自由にお絵かきできます！

当日参加できない方は事前にオンライン応募も可能。

実行委員が A3 サイズにプリントして 11 月 3 日当日、神楽坂路上に貼り出します。

◆同時開催◆

「神楽坂こども応援プロジェクト」

オンラインでの絵の応募1枚につき500円子ども食堂に寄付されます！

応募フォーム（10月29日締切） <https://machitobi.org/oehari/>

11月3日（金祝）12：00～15：30 雨天中止

参加費：無料

問い合わせ先：saka@machitibi.org（坂にお絵描き担当実行委員）

主催：神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会



その他一般参加企画

上記の他、10月14日（土）～11月3日（金祝）の開催期間中、能楽公演、茶会、小唄公演、阿波踊り、音楽ライブ、写真展、絵画展、着付け体験、組紐体験、和楽器体験など、それぞれ魅力的な合計36の文化企画（実行委員会主催企画含む）が神楽坂のどこかで開催されています。

それぞれ開催日・開催場所が異なります。詳細は公式ウェブサイト、または神楽坂の一帯で10月頭より配布される公式パンフレット（公式ウェブサイトよりデータダウンロードも可能）をご覧ください。

公式ウェブサイト

（2023年参加企画一覧ページ） <https://machitobi.org/2023/>

（2023年パンフレットデータDL）

<https://machitobi.org/userdata/2023/brochure2023.pdf>



神楽坂の魅力

多くの地域が再開発によって変貌した東京において、神楽坂は江戸時代の地割りがほぼそのままに、石畳の路地などが残されてきました。神楽坂花柳界の発展とともに、芸事を重んじる歌舞音曲の師匠たちは神楽坂周辺に稽古場をもち、伝統芸能を継承してきました。また戦前にはいくつもの演芸場があり、話芸なども盛んに行われていました。戦後、神楽坂周辺には「パリの佇まいを彷彿させる」としてフランス人をはじめとした外国人が多く住み、従来の日本文化と調和・融合し独特の風情を生み出しています。昨今では神楽坂まち飛びフェスタを始め、若い世代のボランティア団体やNPO団体、商店会、企業、各店舗などが互いに協力しながら、アートや伝統芸能をはじめとした大小さまざまな文化イベントを数多く実施しています。「2022年世界で最もクールなストリート」の25位に選出されるなど、多くの歴史・文化資産に溢れた神楽坂は、現在では国内外からも大きく注目を集める“まち”となっています。

開催概要

「神楽坂まち飛びフェスタ2023」

開催日時	2023（令和5）年10月14日（土）～11月3日（金・祝） ※日程・時間はイベントにより異なる。メインイベントの「坂にお絵描き」は11/3（金・祝）12:00～15:30
開催会場	神楽坂通り周辺（神楽坂駅～飯田橋駅周辺）
料金・費用	11/3「坂にお絵描き」は参加費無料。他はイベントにより異なる。
企画構成	全体で36イベントが参加予定 【野外イベント】「坂にお絵描き」「アートスクエア」「ギャルソンレース」「茶会」「化け猫フェスティバル」 「阿波踊り」「フラメンコ」など 【伝統】「能楽公演」「小唄」「落語会」「組紐」「こきりこ ささら踊り」等 【音楽】音楽ライブ・コンサート 等 【展示】ギャラリー・店舗などのアート企画・展示（写真展、絵画展など） 【体験・催事】まちあるき、科学学習などの体験、ワークショップ、古本市 等
雨天時情報	荒天中止 / 小雨決行。野外イベントのみ雨天中止 ※11/3「坂にお絵描き」が雨天中止の場合は、当日朝8時に神楽坂まち飛びフェスタ公式Twitter、FBにてお知らせします。

主催	神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会（すべてボランティア委員による）
共催	新宿区
後援	一般社団法人新宿観光振興協会
協賛	神楽坂通り商店会／本多横丁商店会／神楽坂仲通り商店会／ 東京商工会議所新宿支部／東京平版株式会社／EPSホールディングス株式会社／ 東京理科大学／遠州茶道宗家／赤城神社／清隆寺／あずさ監査法人／ 株式会社熊谷組／株式会社LAU公共施設研究所／ 株式会社ランドスケープ・プラス／株式会社エフ・クルーズ／ 株式会社 ディープレイン／株式会社フラッグ／東京メタル株式会社
神楽坂子ども応援プロジェクト協賛	神楽坂子ども応援有志の会／EPSホールディングス株式会社
表紙にお絵描き協賛	鮎藤革包堂／神楽坂 五十鈴／サザンカンパニー／神楽坂 助六／ 香舗 椿屋／陶柿園／のレン神楽坂店／神楽坂 梅花亭／ ハルメク おみせ 神楽坂本店／Pbees（ピービーズ）／毘沙門せんべい 福屋／ 不二家 飯田橋神楽坂店／丸岡陶苑／神楽坂銘茶 楽山
協力	毘沙門天善國寺／神楽坂商店街振興組合／（株）講談社／ 東京メトロ飯田橋駅務管区／東京消防庁牛込消防署／ ニッカー絵具株式会社／一般社団法人神楽坂料理飲食業組合／ ロングランプランニング株式会社

お問合せ 神楽坂まち飛びフェスタ実行委員会 事務局 担当：藤野

TEL 03-6426-1728 FAX 03-5227-3572 メール info@machitobi.org

公式ウェブサイト <https://machitobi.org/>

Twitter <https://twitter.com/machitobi>

Facebook <https://www.facebook.com/machitobi>

Instagram https://instagram.com/kagurazaka_machitobi

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCLGEds3jHLG60lcfpUR7awA/>

※諸事情により内容を変更、または中止する場合があります。最新情報は公式ウェブサイト、各SNSをご覧ください。